

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	インバウンド推進事業			事業番号	008-005
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	延べ宿泊者数			
		寄与するKPI	有	現状値	1,031,854人(2018年)	目標値	1,400,000人(2025年度)	
		有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9		
		有	取組	観光消費の促進をめざす戦略的な観光施策の推進				
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	堺観光戦略				
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、広域連携団体（阪神堺三都市外客誘致実行委員会など）				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	外国人観光客	対象数	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	外国人観光客を市内へ誘客し、周遊・宿泊してもらうことで、市内の賑わいの創出及び消費拡大を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	関西の府県・政令市をはじめ、大阪観光局やKIX泉州ツーリズムビューロー、関西広域連合、関西観光本部等と連携した誘客プロモーションによる海外への情報発信				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	阪神堺三都市外客誘致実行委員会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	市内外国人延べ宿泊者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	80,000	100,000	200,000	560,000
			実績値	集計中	集計中		
達成率	—	—					
	当該指標を選定した理由	市内外国人延べ宿泊者数を通じて外国人旅行者数を推測することは当該事業の成果を測る指標として相応しいため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	観光庁が公表する「宿泊旅行統計調査」の元データを二次利用し、大阪府が推計した暦年の数値（大阪府観光統計調査）					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	関西の政令市と連携した誘客プロモーションの実施回数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	5	5	5	
			実績値	5	5		
達成率	100%	100%					
	当該指標を選定した理由	他団体との連携による幅広いネットワーク活用やノウハウ共有を通じて、より効果的・効率的な情報発信が可能となり、外国人来訪者の増加に寄与すると考えられるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	阪神堺三都市外客誘致実行委員会と連携したプロモーション・情報発信の取組から算出					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	インバウンド推進事業	事業番号	008-005
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	111	1,500	11,500	9,502	1,500	
13 財源内訳	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	市債	0	0	0		
	その他 (基金)	0	0	10,000	8,000	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		
	一般財源	111	1,500	1,500	1,502	1,500
14 人件費 (b)	16,400	16,400	16,400	16,400	16,200	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	16,511	17,900	27,900	25,902	17,700	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R4	R5			
16 事業費内訳	阪神堺三都市外客誘致実行委員会負担金	R4 決算	1,500	1,500		R4	決算		
		R5 予算	1,500	1,500		R5	予算		
	ASPAC開催補助金	R4 決算	8,000	0		R4	決算		
		R5 予算	0	0		R5	予算		
	特別旅費	R4 決算	2	2		R4	決算		
		R5 予算	0	0		R5	予算		
		R4 決算				R4	決算		
		R5 予算				R5	予算		
	R4 決算				R4	決算			
	R5 予算				R5	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		集計中	集計中
① 市内外国人延べ宿泊者数	人	集計中	集計中
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,500	9,502
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		

備考 (算出についての説明等) 観光庁が公表する「宿泊旅行統計調査」の元データを二次利用し、大阪府が推計した暦年の数値 (大阪府観光統計調査)

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和4年10月以降、水際対策が段階的に緩和されたことから、回復局面に入ったインバウンド需要を確実に取り込めるよう、関西の政令市や関係団体等と連携し、国内外で効率的・効果的な誘客プロモーションを実施した。
堺市内における外国人延べ宿泊者数については、観光庁が公表する「宿泊旅行統計調査」のデータを踏まえて大阪府が推計しており、令和4年度末時点では令和3年度以降の数値が未公表となっているため、効果測定が難しい状況である。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 水際対策の段階的な緩和により、インバウンド需要が回復傾向であったことから、本格的な観光需要の回復・2025年の大阪・関西万博を見据えて、海外での現地プロモーションを実施するなど、KPI達成に寄与する取組を進めた。
そのほか、ASPAC (※) の大会開催に係る支援の際、海外からの大会参加者へ将来の来訪につながるよう堺市の魅力発信 (堺市のPR動画の放映、伝統産業品の配布等) を行った。
※国際青年会議所が主催し、堺高石青年会議所が主管したアジア太平洋地域 (22の国、地域) の国際会議。令和4年5月に本市で開催。